

オディリア通信

あいあい

秋号(No.95)

R6年11月15日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院
〒165-0031 東京都中野区上鷺宮 5-28-28
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073

Eメール odilia@guitar.ocn.ne.jp

ホームページ <http://odilia.jp>

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

いつになったら秋らしくなるのだろう
と思いたくなる最近の天気です。それでも
少しずつ秋は近づいてきて公園にはたく
さんのどんぐりが落ちています。散歩にで
た子どもたちの中には、お土産にたくさん
握りしめてくる児もいます。面白いもので
どんぐりに全く興味をもたない児もいま
す。

滑り台がお気に入りの児もいます。3歳
の女児は、北中野公園の大きな滑り台の階
段は上れたけれど、「いざ滑る時」「怖い」
と言って止まってしまいました。しかし、
他のお友達か滑るのを見ると、勇気を出し
て自分で滑ることができました。その後は
何回も何回も自分で滑っていました。

院庭の砂場では、友達とやりとり遊びを
する児もいます。砂の入ったバケツに金木
犀の花びらを一生懸命集めて「お花の栗こ
飯です」「これは〇〇さんの」「〇〇ちゃん
の担当さんだから」などたくさん話しながら
遊んでいます。

大人との関係から、友達同士の関係へ、
また、大人との関係へ。行きつ戻りつしな
がら子どもたちは興味の幅を広げ、成長し
ていきます。

(施設長 鎌倉 道子)

	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g



【公園紹介】

戸外で過ごすしやすい季節となりました。散歩に行く機会も増え、子どもたちは近隣の公園でのびのびと遊んでいます。

○上鷲公園

オディリアホーム乳児院から一番近い公園です。滑り台のつり橋やクライミングに果敢に挑戦する子どもたち。

登り切り、滑り台の踊り場に到着すると笑顔で手を振っています。

ブランコや砂場の他にも公園内を散策したりと各々、好きな遊びを楽しんでいます。

○風の子広場

階段側とハンモック側からの両方から登れる滑り台。ハンモックは

難易度高めですが、

真剣な表情で取り組み、

一歩一歩ゆっくりと足を運んでいきます。



秋になるとどんぐりが沢山落ちてるので子どもたちは大喜び。両手いっぱい拾い集めます。ポケットやカバンに入れて大事に院まで持ち帰り、部屋で待っていた保育者に「見て」と嬉しそうに見せてくれます。



公園の近くの千川通りでは、バスやタクシー、パトカー等の働く車が頻繁に走っています。散歩途中に足を止めると、夢中になって車を見ている。

(保育士 内藤)



【絵本紹介】

ピンポーン



「はいい どちらさまですか」「おとけものです」と、動物たちの家に素敵な包みが届きます。シンプルな言葉の繰り返し楽しい絵本で、この繰り返しに子どもたちは大喜びです。

「みんな だいすき ピンポーン」

どんないろがすき



子どもたちに人気の童謡が絵本になりました。各色にかわいい絵柄がたくさん。色への興味を高める一冊です。歌いながらページをめくるわくわく感もあり、リクエスタの多い絵本です。

(保育士 玉井)

まじまじまじ



「うーん、まじまじ」「おめい」
出づくる言葉は「まじ」「おめい」「ほらら」と奇妙な擬音ばかり。色や形も面白いものがいっぱい！一緒に読んでいる子どもたちは不思議な世界に夢中になってキャラクターと笑って楽しんでいきます。

きゅっ



お散歩をしている子ザルのジヨジヨはいろんな動物が「きゅっ」とハグをしているところを楽しそうに見ています。ママが恋しくてだんだんと寂しくなってきた。ページをめくると変化がジヨジヨの表情から子どもたちもその思いに共感するようになっています。「おめい」「きゅっ」としたくなる絵本です。

保育士 向井

【ハロウィン】

今年子どもたちが楽しみにしているハロウィンの季節がやってきました。10月に入ると当日に向けて各部屋で遊びながら仮装の練習をしたり、製作や飾り付けを行って楽しみます。

子どもたちの可愛い手形、足型をシャックオラントンとお化けに見立てた製作を行いました。廊下に掲示されると「かぼちゃ」「おばけ、こわー」と子どもたちの反応は様々です。

今年地域ハロウィンに参加することが出来ました。

午睡から目覚め、ドレスや恐竜の着ぐるみに着替え出発です。普段と違う地域の様子に緊張気味の子どもたちですが、お菓子を貰うところ。自然と笑みがこぼれます。



ハロウィン当日は、子ども達や保育者を選んだ衣装を着て、各部屋のステーションを回ります。



他室や事務所の職員に「素敵な衣装だね」「かわいいね」と声を掛けられると少し照れた表情を浮かべる子どもたち。

「お菓子ちょうだいね」と上手にお話をしています。お菓子を手渡されると「ありがとう」と満面の笑み。

居室に戻り、さっそく買ったクッキーやラムネを頬張ります。「おいしい」の言葉が飛び交い、大満足のおやつ時間でした。昼食のハロウィンメニューも「おばけだ」と大好評。素敵なハロウィンの一日を過ごすことが出来ました。

保育士 内藤



【調理室から】

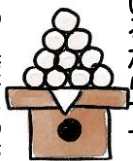
中秋の名月十五夜の意味

美しい月を眺めながら、月見団子を食べる行事です。中秋の名月十五夜は秋の代表的な行事の一つでもあり、日本では馴染みの深い行事です。

満月は一年間のうちに12〜13回見ることができますが、中秋だけ特別に扱われるのは旧暦の八月が一年の中で一番月が明るく美しいとされているからですね。

お供えする食べ物

- ・月見団子



月見団子には、農作物の収穫への感謝や次の豊作を祈るという意味が込められています。

- ・里芋などの秋が旬の野菜

十五夜は芋名月とも称され、特に芋類の収穫を祝う行事として古くから親しまれてきました。

- ・ぶどうなどの秋の果物



ぶどうのようなツルのものは、月と人とのつながりを強くするものとして縁起が良いとされています。

行事が終わった後は、ぶどうと月見団子と合わせてフルーツポンチにして食べるのもよいです。



レシピ
ミニパフェ・一人分



- 水・18g
 - ぶどうジュース・18g
 - カップゼリー・6g (ゼラチンでもよい)
 - コンフレーク・2.5g
 - 生クリーム・5g
 - 砂糖・1グラム
 - みかん缶・パイン缶・桃缶7g
- ① グレープゼリーを作る。
 - ② ゼリーが固まったらコンフレークをのせる。
 - ③ 果物をのせてホイップした生クリームを絞り飾る。

(調理士 五十嵐)

今後の行事

- 12月 クリスマス
- 1月 お正月
- 2月 節分

お知らせ

聖オディリアホーム乳児院のホームページがあります。合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

☆編集 後記☆

過ごしやすい季節となり、戸外遊びや散歩をする機会も増えました。子どもたちと落ち葉やどんぐり拾いを楽しみながら、秋の季節を目一杯感じて過ごしていきたいと思っています。これから寒さが増しますが、手洗い・うがいをしっかり行い体調管理に努めていきます。(保育士 内藤)

*本園だよりのいかなる情報の無断転載を禁止いたします。